



- 1.患者さんの権利と意思を尊重します。
- 2.地域と連携し、適切ながん医療を提供します。
- 3.教育と研修を充実し、優れた医療人を育成します。

群馬県立がんセンターだより

第42号

発行：令和元年11月

発行元：群馬県立がんセンター

GUNMA PREFECTURAL CANCER CENTER NEWS



技術部長
都丸健一

就任のご挨拶

今年度の異動にて4月1日付で技術部長を仰せつかりました都丸健一と申します（診療放射線技師）。

前任地は「小児医療センター」で17年間勤務しておりました。その前に「心臓血管センター」に5年間、「がんセンター東毛病院」時代の当センターに10年間勤務させていただきました。22年ぶり2回目の勤務となります。

長く小児専門病院で過ごしてきたためか、当初は戸惑いも大きく早く慣れようと必死でしたが、少しずつ新しい環境に馴染んできたように感じます。

小淵前部長の後任としてその責務を果たしていく所存ですが、何分浅学非才な身です。皆様にご迷惑をお掛けすることもあるかもしれませんが、ご指導のほどよろしくお願い申し上げます。

当センターの技術部は臨床検査・放射線・リハビリテーション・栄養調理・臨床工学の5部門から構成されています。多くのスタッフが勤務していますので取組まなくてはならない事案も多いですが、いわゆる「良い仕事」ができる環境を整えることが最終的に患者さんに良質な医療を提供することに繋がると思います。私の職務の最も重要な部分と考えています。

技術部はコメディカルの集団です。決して目立つ存在ではなく縁の下の力持ちを自認しています。しかし、チーム医療において無くてはならない存在として日々研鑽し、技術と知識と人格を備えた「知恵」のある医療人を目指したいとします。

ご存知の方もいらっしゃると思いますが、先頃まで「ラジエーションハウス」という診療放射線技師を主人公にしたテレビドラマがありました。医師免許を持つ天才技師が主人公でしたが実際はあんなにカッコ良くはありません、もっと地味な仕事です。ただ、ドラマに描かれていた「患者さんのために」という精神は放射線に限らず本当です。

私が初めて当センターに配属された時から長い時間が過ぎました。病院施設も太田の街もスタッフも大きく変わっていました。ただ、がん診療に対する全スタッフの真摯な姿勢はそのまま、今も変わらずにここにありました。

手術支援ロボットダビンチ始動

2019年6月手術支援ロボットダビンチXiが当院に導入されました。ダビンチは米国インテュティブサージカル社が開発した手術用ロボットで、ダビンチXiは第4世代にあたる最新鋭機です。

ダビンチの名は、ルネッサンス美術の代表的画家レオナルド・ダ・ビンチに由来します。彼は「万能の天才」と呼ばれ、芸術だけでなく科学、ことに解剖学に精通していました。そして彼の絵画は解剖学の知識に基づいて描かれ、多くの人をひきつけました。

手術も精密な解剖学に基づいて行われることが理想です。そのためには、細かいところまで見分けることのできる目と精密に動かすことのできる手が必要です。ダビンチXiは、それを3次元内視鏡による「拡大視野」と手振れなく、自由に動かせる関節を持つ「ロボットアーム用鉗子」で実現しました。

これにより従来不可能とされていた手術操作が可能になりました。

医師はロボットのアームについている鉗子やカメラを遠隔操作して手術を行います。ダビンチのみで手術が行われるわけではなく、患者さんの脇に助手の医師と看護師がついて補助を行い、協調して手術が行われます。

ダビンチの患者さんに対するメリットは、以下のことがあげられます。

- ・がん組織の精密な切除
- ・機能の温存や早期回復
- ・出血量の減少
- ・合併症（輸血や他臓器損傷など）リスクの低下
- ・創感染の低減
- ・より早い回復・日常生活への復帰



逆にデメリットとしては、触覚がないことです。これを克服するには、術者の経験が必要になります。

現在保険で認められている対象疾患は、前立腺癌、腎癌、肺癌、食道癌、心臓弁膜症、胃癌、直腸癌、膀胱癌、子宮癌などです。

当院では、周辺機器の整備、スタッフの研修、手術のシミュレーションを行った後、8月29日に第一例目の手術を無事終わりました。

当面、前立腺癌、直腸癌、食道癌の手術から行っていきますが、徐々に可能な手術を増やしていく予定です。

入院・手術にかかわる経費は、患者さんの年齢や年収、健康保険制度により異なりますのでお問い合わせください。

今後、病院スタッフ全員が協力して、県民の皆さんのみならず周辺にお住いの皆さんにこの最新鋭機による先端医療をお届けしたいと思います。

行事紹介

群馬県立がんセンター 「ブラック・ジャック セミナー」を開催

2019年7月27日(土) 群馬県立がんセンターでは、ジョンソン・エンド・ジョンソン(株)との共催で、「将来の医師等を育てる」ことを目的に、中学生・高校生を対象とした「ブラック・ジャック セミナー」を開催しました。

がんセンターのHP等で参加者を募集し、応募者97人から抽選で30名(中学生10名・高校生20名)を選出しました。

開会式では鹿沼院長のあいさつ、スタッフ紹介から始まり、各ブースに分かれて外科医及び看護師の指導のもと①手術室体験、②腹腔鏡下手術トレーニング体験、③自動縫合器体験、④最新医療機器体験、⑤手術縫合体験、⑥手術用顕微鏡を用いた手術縫合体験を行いました。

閉会式では、鹿沼院長から生徒一人一人に修了証書が授与されました。

終了後のアンケートでは、セミナーの満足度、理解度、医療への関心度、医師・看護師になりたい度、全て100%近い数値となりました。

生徒さんからは、「将来の夢を考えるのに良い経験になった。」「医師や看護師の皆さんが、とても親切に丁寧に一つ一つ教えて下さったので、難しいことも分からないことも聞きながら楽しく学ぶことができました。」

「最新の医療について楽しく学ぶことができました。」「将来医師を目指すために、この経験はすごく貴重なものになった。」等の感想をいただきました。

一人でも多くの子供たちが、将来の日本の医療を支える医療人に育てて欲しいです。



当セミナーは平成22年(2011)から「ブラック・ジャック セミナー」は全国各地で開催されていますが、本県では当センターが初の開催です。ジョンソン・エンド・ジョンソン(株)が資材等を提供し、本院が施設等を提供し、外科医及び看護師数十人が参加者一人一人を本格的に指導しました。



催し物 ご案内

がんセンター公開セミナー 「正しく知ろう『がん』のこと」

当院では、奇数月の第2土曜日に、「正しく知ろう『がん』のこと」と題して、がん治療やがん治療中のケアについて、公開セミナーを実施しています。

今年度の今後の予定は、次のとおりです。ぜひ、お気軽にご参加ください。

- 2020年1月11日(土) 10時～11時30分 場所／県太田合同庁舎
 - ①最新医療とどう向き合うか 鹿沼達哉 院長
 - ②がんセンターの緩和リハビリテーション 柳井亮人 作業療法士
- 2020年3月14日(土) 10時～11時30分 場所／県太田合同庁舎
 - ①婦人科の遺伝性腫瘍について 中村和人 婦人科部長 医師
 - ②がんと化学療法(薬物療法) 堀越真奈美 化学療法認定看護師



外来診療のご案内 (外来担当医一覧表)

令和元年11月1日現在

区	分	月	火	水	木	金	
第一外来	内科	消化器			保坂尚志	保坂尚志	
		血液	村山佳予子 血液内科 (午後新患)	入沢寛之 村田直哉	村山佳予子 血液内科 (午後新患)	村山佳予子 村田直哉	入沢寛之 血液内科 (午後新患)
		呼吸器	湊浩一 (午後/禁煙外来) 藤本栄 (午後新患)	藤本栄	呼吸器内科 (午後新患)	今井久雄 呼吸器内科 (午後新患)	
	外科	消化器	消化器外科医師 (午前/検診・人間 ドッグ後の要精密 検査のみ)	消化器外科医師 (午前/検診・人間 ドッグ後の要精密 検査のみ)	尾嶋仁 深井康幸 持田泰 小澤大悟 石田隆志	尾嶋仁 (新患) 深井康幸 持田泰 小澤大悟 石田隆志	尾嶋仁 深井康幸 持田泰 小澤大悟 石田隆志
		乳腺	柳田康弘 藤澤知巳 宮本健志 矢内恵子	柳田康弘 藤澤知巳 宮本健志 矢内恵子	乳腺科医師 (新患のみ)	乳腺科医師 (新患のみ)	柳田康弘 宮本健志 (遺伝)
		呼吸器			藤田敦 小野里良一		藤田敦 小野里良一
		形成	廣瀬太郎				廣瀬太郎
		骨軟部腫瘍				柳川天志 (午後)	
		(リンパ浮腫)	リンパ治療・指導	リンパ治療・指導	リンパ診断		
		(ストーマ外来)			午前/ストーマ外来	午前/ストーマ外来	午前/ストーマ外来
第二外来	婦人科	中村和人 山下宗一 木暮圭子 東杏莉	中村和人 山下宗一 木暮圭子 東杏莉	鹿沼達哉	中村和人	中村和人 山下宗一 木暮圭子 東杏莉	
	歯科口腔外科	新垣理宣		新垣理宣		新垣理宣	
	頭頸科	鈴木政美 (午前/再診)		鈴木政美 (午前/再診) 鈴木政美 (午後/新患)		鈴木政美 頭頸科医師 (午後/新患)	
	麻酔科	麻酔科医師				麻酔科医師 (午前/術前診察)	
	泌尿器科	清水信明 蓮見勝 泌尿器科医師 (午後/新患のみ)	清水信明 村松和道 泌尿器科医師 (午後/新患のみ)		清水信明 蓮見勝 村松和道	清水信明 蓮見勝	
	精神腫瘍科			村上忠			
放射線科	放射線	永島潤 安藤謙 小林大二郎	永島潤 安藤謙 小林大二郎	永島潤 安藤謙 小林大二郎	永島潤 安藤謙 小林大二郎	永島潤 安藤謙 小林大二郎	
腫瘍内科	腫瘍内科				荒木和浩		

※緩和ケア外来の受診を希望される方は「がん相談支援センター」へお問い合わせください。直通電話:0276-60-0679

診療予約 *初診、再診ともに予約制です。

●初診紹介予約制について

当センターは「完全紹介予約制」です。初めて受診される方はあらかじめ電話で診療日時の予約をしていただき、診療当日は必ず主治医の紹介状(診療情報提供書)をお持ちください。また、再来の方も予約制となっておりますので、事前に予約をおとりください。

●がん検診について

当センターでは、がんの検診(一次検診)は行っておりません。市町村の検診や人間ドックをご利用ください。検診で異常を指摘された方の診療は行っております。

予約専用電話 0276-38-0762

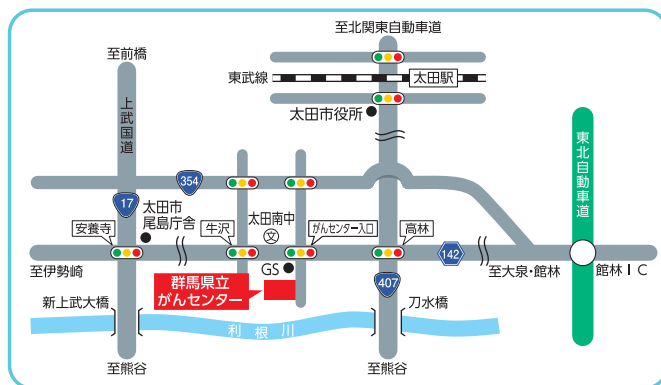
電話受付時間/平日:午前9時~午後5時

土曜日:午前9時~午後1時

※ただし、診療を希望される前日の午後1時までにご連絡してください。

休診日/土・日曜日、祝日、年末年始

入院者の面会時間 午後0時30分~午後7時30分



群馬県立がんセンター

〒373-8550 群馬県太田市高林西町617-1

TEL.0276-38-0771 (代) FAX.0276-38-0614

URL <http://www.gunma-cc.jp>